

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成20年11月13日(2008.11.13)

【公開番号】特開2007-114052(P2007-114052A)

【公開日】平成19年5月10日(2007.5.10)

【年通号数】公開・登録公報2007-017

【出願番号】特願2005-305971(P2005-305971)

【国際特許分類】

G 01 H 3/00 (2006.01)

G 01 H 17/00 (2006.01)

【F I】

G 01 H 3/00 A

G 01 H 17/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月29日(2008.9.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検査対象の作動音に含まれる異音を検査するための異音検査装置であって、

外部からの音の進入を抑制する防音構造を備え、内部に前記被検査対象が設置される防音箱と、

該防音箱内に配設された集音手段と、

該集音手段で取り込んだ前記被検査対象の作動音に含まれる、前記防音箱で遮断しきれない外部からの音の成分を除去する外部音成分除去手段と、

該外部音成分除去手段により外部からの音の成分が除去された前記被検査対象の作動音の時間軸波形を2乗平均し、該2乗平均後の波形の形態に基づいて、前記被検査対象の作動音に含まれる異音の有無、及び／又は該異音の発生部位を判定する異音判定処理手段とを備え、

前記異音判定処理手段が、

前記2乗平均後の波形を、レベルが低い方の第1の波形と、該第1の波形から突出している第2の波形とに分け、これら第1及び第2の波形の形態から前記2乗平均後の波形の特徴を数値化するための所定のパラメータを算出するパラメータ算出手段を備え、

該パラメータ算出手段により算出された前記所定のパラメータの値に基づいて、前記被検査対象の作動音に異音が含まれているか否かを判定する処理を行うものであることを特徴とする異音検査装置。

【請求項2】

集音手段を介して取り込んだ被検査対象の作動音に含まれる異音を判定する異音判定処理方法であって、

演算処理手段が、前記被検査対象の作動音の時間軸波形を2乗平均するステップと、

該2乗平均後の波形を、レベルが低い方の第1の波形と、該第1の波形から突出している第2の波形とに分け、これら第1及び第2の波形の形態から前記2乗平均後の波形の特徴を数値化するための所定のパラメータを算出するステップと、

該算出された前記所定のパラメータの値に基づいて、前記被検査対象の作動音に異音が含まれているか否かを判定するステップとを実行することを特徴とする異音判定処理方法

